

事務事業名		三陸保健福祉センター管理運営事務事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目				
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 保健・予防活動の充実					01	04	01	01	31
根拠法令											
所属	部課名	生活福祉部保健福祉課			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成13 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入						
	係名	福祉医療係	電話	44-1030							
			内線	7184							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・保健福祉センターでは、保健関係の各種活動の三陸町地区の拠点として、健康づくりを推進するとともに、各種福祉関係の申請を受け付けている。 ・主な活動は、清掃、警備、電気、消防設備の保守点検、修繕、公用車の管理等を行う。 ・事業費は、清掃、エレベーター保守点検の委託料、光熱水費等に支出される。						全体計画(期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 清掃回数	回
・清掃、警備、電気、消防、エレベーター設備の保守点検、修繕、公用車の管理等		イ 保守点件数	件
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
・21年度と同じ		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		名称	単位
・三陸保健福祉センター		カ 三陸保健福祉センター施設面積	m ²
特に三陸町地域の市民		キ 三陸町地域の人口	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
・適正な施設管理が行われる		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	単位
・利用者が安全で快適に利用できる		サ 施設の故障、不具合件数	件
		シ 施設の利用者数	人
		ス 利用者の充足度の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
投入量	事業費	国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	3,661	3,665	3,239	3,091	3,499	3,237
		事業費計(A)	3,661	3,665	3,239	3,091	3,499	3,237
	人件費	正規職員従事人数	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	240	240	240	240	240	240
		人件費計(B)	960	960	960	960	960	960
		トータルコスト(A)+(B)	4,621	4,625	4,199	4,051	4,459	4,197
活動指標	ア	回	244	240	240	240	240	240
	イ	件	5	5	5	5	5	5
	ウ							
対象指標	カ	m ²	2,348	2,348	2,348	2,348	2,348	2,348
	キ	人	7,872	7,765	7,610	7,381	7,315	7,310
	ク							
成果指標	サ	件	0	0	0	0	0	0
	シ	人	1,539	1,700	1,600	1,700	1,700	1,700
	ス	%	100	100	100	100	100	100

事務事業ID	0302	事務事業名	三陸保健福祉センター管理運営事務事業
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・平成9年に建設され、以降その維持管理が始められた。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・旧三陸町の中心的な福祉センターであったが、平成13年の合併により、旧大船渡市の保健介護センターと役割分担し、三陸地域の担当センターとなった。

・平成17年度からは、保育所の管理事務が本庁の保健福祉課へ移管された。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・特にない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 三陸町地域の保健福祉センターとして、保健・予防活動の一翼を担っているために結びついている。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 中核となる保健介護センターとは遠距離にあり、行政として拠点を有することは必要である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 施設を良好な状態に維持し、健康づくりへの関心を高め、病気を予防するという目的に必要不可欠である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 施設の故障、不具合件数では特にない。不具合が見つければ、業者に依頼するなどすぐに対応している。施設利用者数は増加しているが、まだ空きがあるため、より活用を促進することはできる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 三陸町地域に必要な施設であり、当面なくすことはできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 大船渡地区の保健介護センター ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 保健介護センターとは立地が離れているため、行政として拠点を有することは必要である。
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 事業費の主なもの、清掃、エレベーター保守点検の委託料、光熱水費等であり、削減は難しい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 人件費(所要時間)はほとんどないため、削減できない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 受益者負担はない。会議室等も市民団体に無料で貸し出している。利用状況も公平になっている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
<table><tr><td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	会議室の利用状況には、まだ空きがあるものの、施設に関しては特に不具合もなく、概ね適正に管理されている。					
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																	
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり適正な管理に努めていく。 ・会議室の利用状況にはまだ空きがあるため、より活用を促進することはできる。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)							
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持														
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																		
<table><tr><td rowspan="4">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		成果	向上				維持		●	×	低下		×	×				
成果	向上																	
	維持			●	×													
	低下			×	×													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		

(職 名)	原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	保健福祉課長	

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																		
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																		
☐ 記述不足でわかりにくい																		
☐ 一部記述不足のところがある																		
☒ 記述は十分なされている																		
評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																		
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)																		
☐ 一部に客観性を欠いたところがある																		
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																		
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																	
<table><tr><td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	三陸地区における福祉活動の拠点施設として、適正な管理運営がなされている。					
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																	
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 三陸地区における福祉活動の拠点施設であるが、保健介護センター職員が分散配置されており、見直しが必要である。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)							
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持														
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																		
<table><tr><td rowspan="4">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		成果	向上		●		維持		○	×	低下		×	×				
成果	向上			●														
	維持			○	×													
	低下			×	×													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項